

国立磐梯青年の家所長 浅川 淑彦

猪苗代町公民館長 熊倉 光瑞

② 助言者

県教育庁社会教育課員、教育事務所社会教育主事

県立図書館職員

(4) 研究内容

① 研究主題 公民館の役割と公民館事業の運営

② 講義

ア 公民館主事の生きがいについて

イ 公民館主事の企画、運営について

ウ 公民館における広報活動について

エ 社会教育課の重点施策について

③ 研究協議

ア 公民館の性格と機能について

イ 会議、運営の技術について

ウ 公民館主事の職務について

エ 図書室運営の在り方について

④ 研究発表、演習、情報交換

② 助言者 県社会教育主事、県公連役員

県視連役員

(4) 研究内容

① 講師 「視聴覚教材の効果的な活用について」

② 学級見学 福島市中央家庭教育学級Cコースの視聴覚

教材を利用した学習を見学する。

③ 協議 講義、見学学習の中から具体的な問題点について研究協議を行う。

10. 県視聴覚ライブラリーの状況

(1) フィルム所有状況(本数)

種別	所有	48増減	損傷分	使用可
県備品	540	+60	1313	527
県選管	144	+3	13	131
県民室	34	+9	0	34
新生活	13	0	1	12
給食会	7	0	0	7
計	738	72	27	711

8. 公民館長研修会

(1) 目的

社会教育の課題と公民館の役割を明確にするとともに、管理職としての使命を自覚し、公民館の管理運営に必要な専門的な知識、技能を習得する。

(2) 期日・会場・参加者

① 期日 昭和48年8月1日～8月2日

② 会場 飯坂町 婦人会館

③ 参加者 公民館長、市町村社会教育課長 114名

(3) 講師・助言者

① 講師

国立教育会館理事 林部 一二

② 助言者

社会教育課長、主幹、主任社会教育主事

(4) 研修内容

① 講演 公民館の近代的な経営と評価について

② 講義 公民館長の職務内容

③ シンポジウム 公民館経営の視点と問題点について

(2) 文部省企画録音教材

① 所有本数 1,122本

② 48年増加分 0本

③ 48年再録音本数 150本

④ 県備品音楽テープ 6本

(3) フィルム利用状況

① 学習者数と利用回数および貸出本数

ア 年間 66,967人

イ 〃 780回

ウ 〃 1,468本

② 使用会場

会場	使用回数	%
公民館	277	0.35
学校	223	0.29
集会場	147	0.19
私宅	21	0.03
野外	14	0.02
その他	98	0.12

9. 福島県視聴覚教育ならびに

地域視聴覚ライブラリー大会

(1) 趣旨

教育の近代化が進むにつれて視聴覚教育の重要性がさげ、ばれる今日、関係者が一堂に会し、学習の実際をとおして教材機材等の効果的な活用について理解を深め、更に教育施設としての地域ライブラリーの充実方策と、管理運営等を研究し、視聴覚教育の充実振興をはかる。

(2) 期日・会場・参加者

① 期日 昭和48年11月20日

② 会場 福島市中央公民館

③ 参加者 市町村教育委員会関係者、公民館関係者
地域視聴覚ライブラリー関係者

(3) 講師・助言者

① 講師 福島大学教育学部助教授 島田啓二

③ 学習者の層

層	利用回数	%	層	利用回数	%
小学校	131	0.17	青少年団体	93	0.12
中学校	36	0.04	婦人団体	59	0.08
高等学校	40	0.05	成人団体	121	0.16
青年学級	41	0.05	P T A	25	0.03
婦人学級	47	0.06	一般大学	152	0.20
社会学級	9	0.01	指導者研修	26	0.03